



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
 e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp



会長／井上 明彦 幹事／南 信行 クラブ会報委員長／関 幸博
 SAA／小池 裕孝 副 SAA／村田 秀雄

第1259回例会 2013年（平成25年）8月9日（金）

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を
 ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

会長挨拶 井上明彦会長

「梅干しは三日三晩」

残暑お見舞い申し上げます。高知四万十、山梨甲府、群馬館林、埼玉熊谷市、など各地で40度を超す例えのない猛暑に閉口しています。一方で秋田、岩手で大雨洪水土石流の被害が発生する異常気象です。

この暑い中、梅漬け工場の忙しさがニュースになっていました。土用で梅の産地は天日干しに追われます。（南高梅が中心で全国の生産量は約100万t）梅の産地は紀州和歌山、上州群馬、奈良、信州長野など全国にわたります。その内、紀州産が65%、上州産が15%を占めています。干す事で風味が増し、長期保存が可能になります。ご飯中心の日本型食生活には欠かせない梅干です。自家製を愛し、こだわる家も多く、継承したい食文化であります。「梅干はその日の難逃れ」「梅の常用は医者いらず」といわれています。吐き気、口の渇き、下痢止め、食あたり、等など昔から伝わる薬膳です。まだまだ猛暑の日がつづきます。こんな日は梅干を身近に置きましょう。まさに今、我が家の梅は三日三晩の土用干しです。今年も我が家の年中行事です。梅を食べ、厳しい残暑を乗り切りましょう。

今日の例会も楽しくお付き合いください。

8 / 23 本日のプログラム

会員卓話 土屋孝二さん
 「自己紹介」

8月のお祝い事 おめでとうございます

<結婚記念会員>

狩野 土さん 竹村利之さん

<夫人誕生記念>

池田加代子さん 狩野さといさん 粕尾京子さん
 北川原久美子さん 相馬明子さん 高井惇子さん
 轟 ゆり子さん 山口恒子さん

<会員誕生記念>

小出 昭雄さん 高橋英司さん

幹事報告

南 信行幹事

- ・高松南 RC の会長マスウド・ソバハニさん（ロータリー歴26年テヘラン生まれアメリカ国籍。2670地区の史上初めての外国人の会長就任）より、是非高松南 RC の例会に参加くださいとのお誘いがきています。
- ・ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）明日10日塩尻にて開催。池田クラブ奉仕委員長代理として高井 亘副会長出席。
- ・納涼会には大勢出席くださりありがとうございました。また、10月27日には、秋の親睦ゴルフと松茸鍋を開催します。スケジュールにお入れ下さり、ご参加をお待ちしています。

（中野会員家族委員長）

昭和建物株（小出昭雄さん）本社移転のご案内
 新住所：〒380-0813
 長野市鶴賀1403番地 大通り昭和ビル
 *電話番号・FAX 番号は変わりません。

8/9 (会員52名) 出席32名前々回修正出席率86.6%

- ・伊東義次さん☆小山さん、今日は森林（もり）のお話しをお願いします。
- ・山本博昭さん☆先日息子の結婚披露音楽会には、井上会長はじめ多くの方にご来臨いただき盛大に行うことができました。有難うございました。
- ・松本克幸さん☆我が母校熊本工業が今甲子園で3対1で勝っています。

・合計 10,500円 ・スヌーパー 8,280円
・累計 103,156円

講師紹介 伊東義次社会奉仕委員長

西クラブでは、分収造林・分収育林の事業をしていますので、もう一度森林の大切さを認識し積極的に取り組む意義にアドバイスを頂きたいと思ひ、長野県林務部信州の木振興課経営普及係係長農学博士でもある小山泰弘さんをお招きしました。

ゲスト卓話 小山泰弘さん

「長野県の森林（もり）現状課題と役割」



森林とは大きな役割をもっています。森林の中には生き物がいて、林があり、それ以外に“水がめ”としての自然の機能があって豊かな水も育ちます。森林には芽から木が生え、そこから林となり、木材を育つ機能が生まれます。昨今は、森林に入って静かに時を過ごし、心や身体を癒やすというスピリチュアル的なこともでき、木の成長と共に「人の心を穏やかにする」という大きな役割も生まれてきたのです。また現実的には、「タラの芽」「キノコ」などの山菜取りに行く楽しみも増してくれています。また時々森林浴をし、リフレッシュすることで癌にもなりにくい体質になると言われています。このように、健康になれるという森林の価値はとても素晴らしいですね。

私ども森林を扱うものは木材を忘れてはならない。平成19年に、「一般の人は森林に何を期待しているか」という総務省の調査を行ったところ、1位は温暖化防止、次は災害防止、公害防止、癒し、などが出たのです。温暖化防止、温暖化とはいったい何なのか？木を植え、10年後そして20年後には5メートル以上に成長し、30年となれば大

木となって行く。この木の成長、大きくなればなるほど木には酸素が増え、地球の自然環境が保たれるのです。これにより、地球温暖化防止にもつながるのです。ですから、ロータリーの木を育てられていることは温暖化防止に役立っているということになるのです。山をいい状態で保ってけば、森林の自然の力も増し水害防止などに繋がり、木を植えて育てることにより何人もの人たちが助かるのです。ロータリーの事業は、多くの人の生活を守っているということになるのです。

森林とは、スポンジの上ののっているようなもの。森林にとって大事なことは、土、水、空気がたとえスポンジであっても、植物はこの状態で根を張っても呼吸をしているのです。それには隙間があることが大事で、空気も水も通すことが森林にとって大事なことで、これが地球温暖化防止につながるのです。森林あって、土があって、空気があって、水と隙間がある。そこには、空気やメタンガスを食べる動物もいます。メタンガス排出量、CO₂これを森林が吸っています。土を残すことで温暖化防止につながるのです。

長野県は山が多い県なので、面積からして1人あたり、5,000分の森林を面倒見る計算になるそうです。昭和30年代は、石油も、石炭もない時代で、燃料は全てマキでした。従って山々には木などあるはずがないのです。生きるが先という時代でしたから。それからの50年後の今、ようやく緑いっぱいの森林になりCO₂を吸収してくれています。また、ニホンカモシカの急増で自然で生きるバランスも壊れつつあり、山の整備もする必要になりましたが共に共存する姿勢を目指していきたい。

暮らしの中で木を使うことは、「植える」「育てる」「収穫する」という森林のサイクルを回します。元気な森林はCO₂を吸収するだけでなく、様々な恩恵を与えてくれます。

森林は、持続可能な社会を支える社会全体の共有財産として、大きく注目されています。

「みんなで支える輝く森林」を目指して、この新しい森林づくりの取り組みに今後も長野西ロータリークラブの皆さんのお力添えをよろしくお願い致します。 会報当番：関クラブ会報委員長

例会案内

8月30日 ゲスト卓話 土屋 陽平さん
「びんずるまつりを終えて」